

# ヒューマンライツ・シアター&トークショー

2017年(平成29年)10月23日(月) 17:40~20:10

主催 昭和大学横浜市北部病院

会場:都筑区公会堂(横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-1) 入場:無料

財団法人 全日本ろうあ連盟 創立60周年記念映画

人情あふれる東京の下町を舞台に、  
“もうひとつの美しい言葉・手話”で織り成す、  
幾つもの世代をつなぐハートフル・ストーリー

## ゆずり葉

ろう者と健聴者の  
ヒューマン・コラボレーション!

—君もまた次のきみへ—

原案:後藤謙史

全国600か所で上映されてきた、映画『ゆずり葉』

医系総合大学『昭和大学』ならではの企画がここに実現!あなたにとってたいせつな人に想いを寄せてご覧ください。

### スケジュール

17:40 開会挨拶

17:45 映画『ゆずり葉』 上映  
(上映後10分休憩)

19:40 トークショー

早瀬 憲太郎 (映画『ゆずり葉』監督)

早瀬 久美 (昭和大学病院薬局薬剤師)

◇トークショーには手話通訳・要約筆記通訳がつきます。

20:05 閉会挨拶

司会:山口 淳 (昭和大学人事部人権啓発推進課)

庄崎 隆志  
今井絵理子(SPEED)

福嶋 一生  
津田絵理奈  
貴田みどり  
井崎 哲也

大久保 鷹  
石井めぐみ  
西村 知美(友情出演)  
林家 正蔵(友情出演)  
山口 果林  
大和田伸也

製作総指揮 安藤 豊喜  
プロデューサー 佐藤 武光

新井 英夫

撮影 石渡 均

照明 奥村 誠

録音 瀬谷 満

美術 池田 大威

音楽 澤渡 一樹

編集 宮武 由衣

助監督 山本 保博

制作担当 佐々木文夫

宣伝配給プロデューサー

中橋真紀人

アドバイザー 山本おさむ

脚本・監督 早瀬憲太郎

先着300名に  
豪華パンフレット  
(カラー57P)を  
プレゼント!



ふた組の恋人達をつなぐのは、1本の手づくり映画に秘められた愛と哀しみの奇跡!

#### ◎あらすじ

ベテラン大工の敬一(庄崎隆志)は昔の恋人の早苗(今井絵理子)との苦い思い出から逃れるように、ろうあ運動から離れていたが、障害者への資格制限などの差別撤廃運動を盛り上げるため、二十数年前に途中でストップしていた手づくり映画の制作の再開に弱った身体を押して参加することに…。

その映画のオーディションに応募して主演に選ばれる吾朗(福嶋一生)だが、私生活は不安定な様子…?結婚に踏み切れない吾朗に苛立つ恋人の、ろう学校の教員のさやか(津田絵理奈)と、その妹で薬剤師国家試験に挑戦中の尚美(貴田みどり)は、周囲に支えられながら、新しい人生を切り開こうとしている…。

実際に映画づくりが始まると、関係者の苦労が続いたが、支援の輪は広がり始める。しかし、敬一の体には病魔が迫り、撮影の進め方にも悩むばかり…。そうした壁を乗り越えながら、ラストシーンの撮影の日が訪れる……!

#### ◎見どころ

聴覚障害者の人権を守ってきた全日本ろうあ連盟が創立60周年を記念して初の映画製作に取り組む。耳の聞こえない生い立ちの中で同じ障害の次代を支える学習塾や映像教材を推進する早瀬憲太郎が劇映画として企画したオリジナル脚本を、漫画「どんぐりの家」などで聴覚障害児の苦闘を描いた山本おさむの全面協力での磨き上げ、初監督に挑戦している。

撮影には映画作りのベテランが結集。ロケには手話通訳者が同行し現場を支え、「ヨーイ、スタート!」に白い旗、「カット!」には赤い旗を振るなどの創意工夫で、聞こえない監督やキャストと聞こえるスタッフやキャストとの意思疎通を図りながら、熱い思いを実現させている。

幾つかの世代にわたる登場人物の手話表現に関しては「日本手話研究所」が監修し、専門家や先輩諸氏のアドバイスを生かしながら、撮影が進められた。

【2009年/1時間43分/日本語字幕入り】〔文部科学省選定・厚生労働省推薦〕